科目ナンバリング	U-LAS04 10003 LJ47						
授業科目名 <英訳>	教育学II Pedagogy II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　倉石　一郎		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	木3/金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本講義は、教育福祉の理解に資するようなメタ理論を社会学、教育社会学、教育学などの知を総動員して講述する。こんにち、貧困・格差・差別・排除といった問題群をめぐって多彩な経験的研究が展開されているが、メタ理論とは、個別の経験的研究が参照すべき道しるべとなるような、事例横断的な理論軸のことである。その中でも特に注目するのが、貧困や排除の克服を目的に立ち上げられた教育政策や制度、あるいは官民両方におよぶ社会事業的改善策の展開である。これらを総称して本講義では「教育福祉」と呼ぶことにする。

[到達目標]

教育福祉の重要な一角をなす教育支援の意義、可能性、限界を、社会学・教育社会学等の理論を手がかりに理解し、教育福祉の理解に不可欠の知識・教養を獲得すること。教育支援の理解に不可欠な、背景となる社会科学的素養を獲得すること。

[授業計画と内容]

１．オリエンテーション
２．出発点としての〈包摂と排除〉の同心円モデル
３～４．包摂と排除の入れ子構造論―迷宮に分け入るための一歩
５～６．ルーマンから学ぶ「包摂その一歩手前」の大切さ―「平凡でないマシーン」とその平凡化の視座から
７．「包摂の一歩手前」を可視化した貴重な記録―在日朝鮮人高校生を描いたあるビデオドキュメンタリーから
８～９．創発的包摂の教育小史―「必要の政治」を主題とする３つの事例から
１０～１１．＜宿題＞から見た包摂と排除―教育総動員体制論序説
１２～１３．創発的包摂を生きる主体―リー・ダニエルズ『プレシャス』を観る
１４．公私融合の混迷状況で読み解く〈包摂と排除〉―教育基本法改定前・後の比較から
１５．フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末試験により評価する。平常点も一部加味する（詳細は授業中に説明する）。

[教科書]

倉石一郎 『教育福祉の社会学―〈包摂と排除〉を超えるメタ理論』（明石書店）ISBN:978-4750352206

教育学II(2)へ続く↓↓↓

教育学II(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

テキストを事前に購入し、指示されたページに事前に目を通しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

特になし。